



(枿の贈呈 岐阜県日米協会)

岐阜新聞

南加岐阜県人会

100周年式典に出席して

- | | |
|-----------------|----------------|
| (上) 先人に感謝し、発展祈念 | 2011年 9月24日(土) |
| (中) 市町村の観光パンフ好評 | 2011年 9月25日(日) |
| (下) 国際色豊かな語学学校 | 2011年 9月26日(月) |

100周年式典に出席して

《上》

米国カリフォルニア州南部に暮らす岐阜県ゆかりの人たちでつくる「南加岐阜県人会」(ハッピー水谷会長、会員80家族)は8月28日(現地時間)、創立100周年記念式典を米ロサンゼルス郊外のトールランス市のホテルで盛大に開催した。式典に参加した県日米協会常務理事河合雅子さんに式典の様子、今後の国際交流の展望について3回にわたり寄稿してもらった。

◇ 南加(南カリフォルニア)は、邦人8万人以上が滞在し、20万人以上の日系米国人が活躍する全米最大の日系人コミュニティを有する地域で、トヨタ、ホンダをはじめ多くの日系企業が進出し(本県からはイビダンU.S.A. R&Dが進出)、飛躍的な発展を遂

先人に感謝し、発展祈念

げている地域です。

南加岐阜県人会は、戦前に岐阜県から移民してきた人々によってつくり、戦後になって移住したいわゆる「新一世」とその子孫によって受け継がれてきました。

式典では、日系社会の基礎を築いた先人に敬意の念を表し、県人会の一層の発展を祈念するとともに、地元岐阜や他の岐阜県人会との絆を深める

古里との絆、より深く

ネットワークを広げてい 県議会を代表して渡辺真 共に式典に臨みました。(政府開発援助)を担当してきたというところで、日 県議ら総勢165人が集 来賓祝辞で伊原純一在 系社会の各界リーダーや いました。県日米協会と ロサンゼルス日本国総領 各県人会の会長、ニュー しても、今年5月に小川 事(現・外務省北米局長) として1年半指導を受け りークやデトロイトなど 信也会長(太平洋工業社 は、「南カリフォルニア された怒られた)が非常 の岐阜県人会の会員、そ 長)へ参加要請の依頼文 には41の県人会があり、 に勉強になったと知事の して県からは知事代理で 書が届いたことから、私 そのほとんどが100周 人柄をユーモアたっぷり 安福正寿総合企画部長、 が会長代理として会員と 年を迎えている。アメリ に伝えられました。



南加岐阜県人会創立100周年記念式典で乾杯する出席者—米トールランス市のホテル

力はよく人種のもつぽといわれるが、私は素材(それぞれの民族が個性を発揮)が混ざり合っている。サラダボール」と感じており、米国社会で生きていくためにはアメリカの市民、生活者としてなじむことも重要だが、自身を見失うとその社会では生きていけない」と語り、県人会は、祖国と日本人・日系人を結びつける懸け橋として、とりわけ重要な団体だと力を込められました。

古田肇知事にも触れられ、知事が外務省で経済協力局長としてODA

100周年式典に出席して

《 下 》

さて、日本では、平成23年度から小学校第5、6学年で年間35単位時間の「外国語活動」が必修化されました。しかし、英語圏の文化を知らない教師に英語が教えられるだろうか。また、語学留学を迷っている青少年に確かな情報と県人会のサポートを伝えられないだろうかということ、今回、協会が一部プログラムをサポートしている「サマーキャンプ in ぎふ」(日本語力の向上を目指す日本文化体験学習プログラム)関係者のお世話で、青少年や教育者の語学学習、文化体験プログラムを調査するためにロサンゼルス近郊

国際色豊かな語学学校

の語学学校等教育関連施設を4校視察しました。

語学学校は大学のキャンパス内に設置されていて、「安全」であり、生徒は世界各国から集まっております(日本人学生は平均15%)、円高もあり、授業料ほかホームステイ代、食費などは安価に設定されていて、世界の学生と仲良くなれ、帰国後

英語教育のヒントに

もメール、スカイプ、フェイスブックなどで交信、モチベーションが向上するそうです。

既に有名私立、中高一

貫校は自前か語学学校と日米協会でも南加岐卓県ありました。連携プログラムを推進し人々と協力して岐阜県の

ロサンゼルスから岐阜に元気を送ってもらったようです。(文・河合雅子 県日米協会常務理事)



全米日系人博物館。日系米国人の歴史と体験を、米国史の大事な一部として人々に伝える「米ロサンゼルス」のリトルトーキョー

いだろかなどと考えています。

終わりに、数日間の滞在でしたが、カリフォルニアの青い空、温暖な気候、人々の温かいもてなし、県人会の皆さまが丸となった出迎え、関係者の方々の周到な準備と配慮の行き届いた接遇のおかげで、いろいろな場面を通してコミュニケーションの大切さを学ぶとともに、長年にわたり培われた日米関係が人と人との友情・信頼で支えられていることに新たな感動が